

## 第46回 土岐市地域公共交通活性化協議会 議事録

日時：令和6年5月24日（金）14：00～15：30

場所：土岐市役所・3階大会議室

(参加者)

※敬称略

委員	磯部 友彦	山田 和洋	木村 治史
	加藤 博康	小倉 保二	永治 良夫(代理)
	澤田 利幸	三輪 やよい	加藤 千恵子
	坂崎 陽祐	小栗 辰彦	黒田 博昭(代理)
	玉木 俊(代理)	伊藤 康浩	亀山 哲也
	奥村 陽輔(代理)	水野 哲男	渡邊 豪
	鷺見 直人	正村 彰浩	熊崎 直美
	加藤 剛	加藤 貴史	
事務局	籠橋 昭範	古田 貴祐	久木 裕介

※藤田 明博、川合 雅乃 欠席

### ■議長選出

- ・磯部副会長を議長に選出

### ■協議事項

#### (1) 令和5年度決算の認定について

(事務局)

- ・協議事項の前に「土岐市の公共交通について」事務局より説明。

(事務局)

- ・資料1について説明

〈意見・質問〉

なし

- ・承認

#### (2) 令和5年度事業計画(案)について

(事務局)

- ・資料2について説明。

〈意見・質問〉

(木村委員)

・ドライバー不足が課題となっており、業界としても人材確保の努力はしているが限界がきている。事業案の中に人材確保に関するものを入れていただけるとありがたい。

(事務局)

・ドライバー不足は事務局としても認識している。公共交通の現状を周知することは重要と考えているため、参考とさせていただく。

(山田委員)

・ライドシェアが話題となっている。タクシー事業者としても自治体と協力しながら安全運行に努めてやっていきたい。ドライバー不足はタクシー業界も同じであるためご協力をお願いしたい。

(黒田委員)

・国や県でドライバー確保のための補助金を出したり、市と協力しながらイベントをやったりしている。何かあればご相談いただきたい。

(玉木委員)

- ・県としてもドライバー確保の協力はしている。
- ・土岐市としては公共交通での移動需要の把握はしているか。

(事務局)

・市では乗降調査や、職員がバスに乗り込んで利用者へ直接アンケート調査を行うなどして把握に努めている。利用者が増えない負のスパイラルに陥っている部分もあり、単に便数を増やせば利用者が増えるというような状況ではなくなっている。後ほど報告させていただくが、新しい公共交通の形として今年度はAI デマンド交通の実証実験を行う。

(磯部委員)

・表で長く青線で引かれている部分があるが、どういうプロセスで進むのかわかるといいがどうか。

(事務局)

- ・公共交通会議がある都度に、適宜報告することで代えさせていただきたい。

(加藤 千恵子委員)

- ・市民バスの改善活動は昨年度何があったか。

(磯部委員)

- ・今までどういった形で調査を行ったか。

(事務局)

- ・乗車アンケートで調査を行っているが、改善活動に至るような意見がなかった。

(加藤 千恵子委員)

- ・利用者が増えないということだったので、老人会でなぜ利用しないかを把握するため議事に挙げてみる。

(水野委員)

- ・曾木町で検討会が行われているが、鶴里町での検討会は考えているか。

(事務局)

- ・曾木町での検討会は、曾木町からの声掛けで始まっている。鶴里町から声掛けがないからやらないという訳ではないが、昨年度曾木町でアンケートを取ったところ、現状は共助で何とかなっているという状況だった。ただ、5～10年後は困るという認識だったのでそれは鶴里町も同様かと思う。

(磯部委員)

- ・市全体で考えた場合、各地域の事情をどうとらえてやっていくか考えはあるか。

(事務局)

- ・今までは路線バスの撤退があった所を、市民バスで走らせるパッチワーク的なやり方でやってきたが、それが通用しなくなってきている。具体的な方針はないが、交通空白地は作らないよう抜本的な公共交通網の見直しは必要と考えている。

(渡邊委員)

- ・泉町の線路北側の、駅や市役所、病院へ行く交通網があまりない。交通空白地を埋める施策はあるか。

(事務局)

- ・AI デマンド等の新たな交通手段を含めて対応したい。

(永治委員)

- ・夜間の交通が手薄になっているが、バスやタクシーを出すなど対策はあるか。

(事務局)

- ・人手不足等の問題がある中で通勤、通学の足を優先することにはなるが、参考としたい。

(磯部委員)

- ・自治体で解決できる問題だけではないため、全体で問題意識を共有していく必要がある。

- ・承認

### (3) 市民バス「肥田線」新設について

(事務局)

- ・資料3について説明

東濃鉄道(株)が運行する路線バス「肥田線」が令和6年9月30日をもって撤退するため、代替路線として市民バス「肥田線」を新設する。運行経路・停留所・ダイヤ等は路線バス「肥田線」を踏襲する。運賃については道路交通法の改正に伴い運賃料金部会での協議が必要となったため、別途協議の上決定することとなる旨。

〈意見・質問〉

(三輪委員)

- ・下肥田経由も追加してほしい。

(事務局)

・現状は路線バスの運行経路を維持する。バーデンパーク線や「のってこ」等の利用を検討していただければと思う。

(磯部委員)

- ・手段を知らない方もいる。具体的な場面設定をしたうえで周知を徹底すると良い。

(加藤委員)

・多治見ー土岐市駅ー駄知を通る「駄知線」が2022年10月イオンモール土岐のオープンに合わせて再編。土岐市駅ー肥田ー駄知へ変更したものの、収支改善がないため撤退に至っ

た。ご理解いただきたい。

- ・承認

#### ■報告事項

- ・令和6年度地域公共交通対策事業の概要

(事務局)

- ・資料4について説明

#### 【AI デマンド実証実験業務委託】

利用時間、乗車場所、降車場所を予約することでAIがルート検索を行い相乗りにより移動する交通手段。なおあくまで実証実験であるため、事業計画として協議するのではなく、報告事項とする。

〈意見・質問〉

(山田委員)

・AI デマンドは人手不足・料金値上げを行ったタクシー業界にも影響が大きい。バス運賃の値上げとの話だが、乗り合いタクシー「のってこ」や、AI デマンド等含め、全体の料金のバランスが崩れるので、交通全体の料金のバランスを検討してほしい。

(事務局)

・AI デマンドはバスとタクシーの中間を狙うもの。料金体系もバスとタクシーの間に設定したい。タクシー運行事業者のご協力が不可欠なので、しっかりと協議して適正な価格を設定する。

(磯部委員)

「のってこ」の料金についてはどうか。

(事務局)

「のってこ」も含めて検討したい。

(玉木委員)

・他自治体の例の情報提供ではあるが、既存の公共交通との棲み分けとして、料金の差別化に加え、運用エリア・時間帯を調整すると良いのではないか。

(黒田委員)

- ・ AI デマンドについて、具体案があったほうが意見を取り入れられるので示してほしい。

(事務局)

- ・ 早めに具体案を作って協議・報告させていただく。1月運行を目指して申請等を行う。

(黒田委員)

- ・ 自動運転については、土岐市は具体的にどのように補助金申請・調査を行うか。

(事務局)

- ・ 東濃5市+下呂市が共同で行い岐阜県が取りまとめて補助金の申請をする。

(玉木委員)

- ・ 調査内容だが、今年度としては実際に車を走らせず、その前段階として想定ルートを検証・分析し実現の可能性や課題を洗い出す作業を行う。

(黒田委員)

- ・ 具体的には土岐市内のどの地域で調査を行うか。

(玉木委員)

- ・ 土岐市駅-新病院のルートを考えている。

(磯部委員)

- ・ 自動運転には様々な課題があるので整理が必要である。整理ができれば早めに共有をお願いしたい。

以上